

# IV. 成長戦略



# 当社を取り巻く環境 ICT社会の進歩

## ■ 通信速度の高速化



## ■ CPUのトランジスタ数

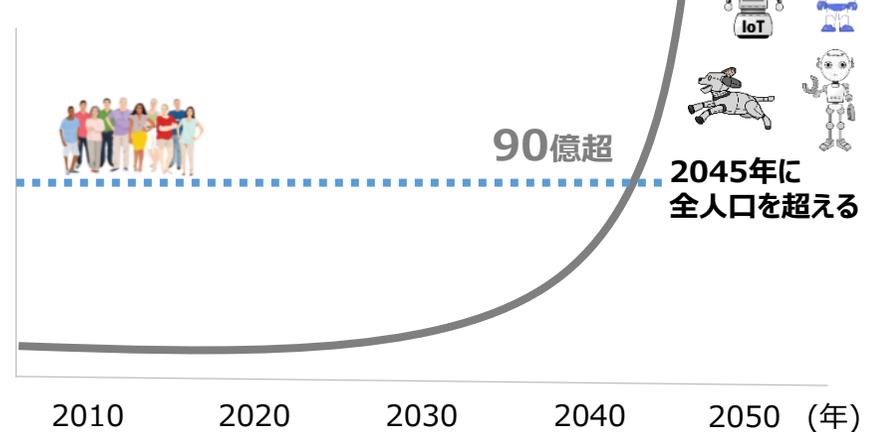


上段の左グラフ、右グラフともに資料の出所はソフトバンク 出典：総務省「情報通信審議会 2020-ICT基盤政策特別部会 基本政策委員会（第4回）配布資料」

## ■ インターネットにつながるIoTデバイスの数



## ■ 人工知能（AI）の将来



テクノロジーの急速な進化により、  
顧客のライフスタイルを変革する様々な商品・サービスが生まれる

# 当社を取り巻く環境 5G（第5世代通信）時代の到来

● 5Gにより技術領域が拡大し我々のライフスタイルは大きく変化する

## 超高速・大容量

通信速度は 通信量は  
現在の**100倍** 現在の**1,000倍**

4K/8Kストリーミング

VR/AR

ドローン



5G

## 低遅延

★映像や音声等の送信速度の遅延が劇的に解消

現在の**10分の1**

## 多数同時接続

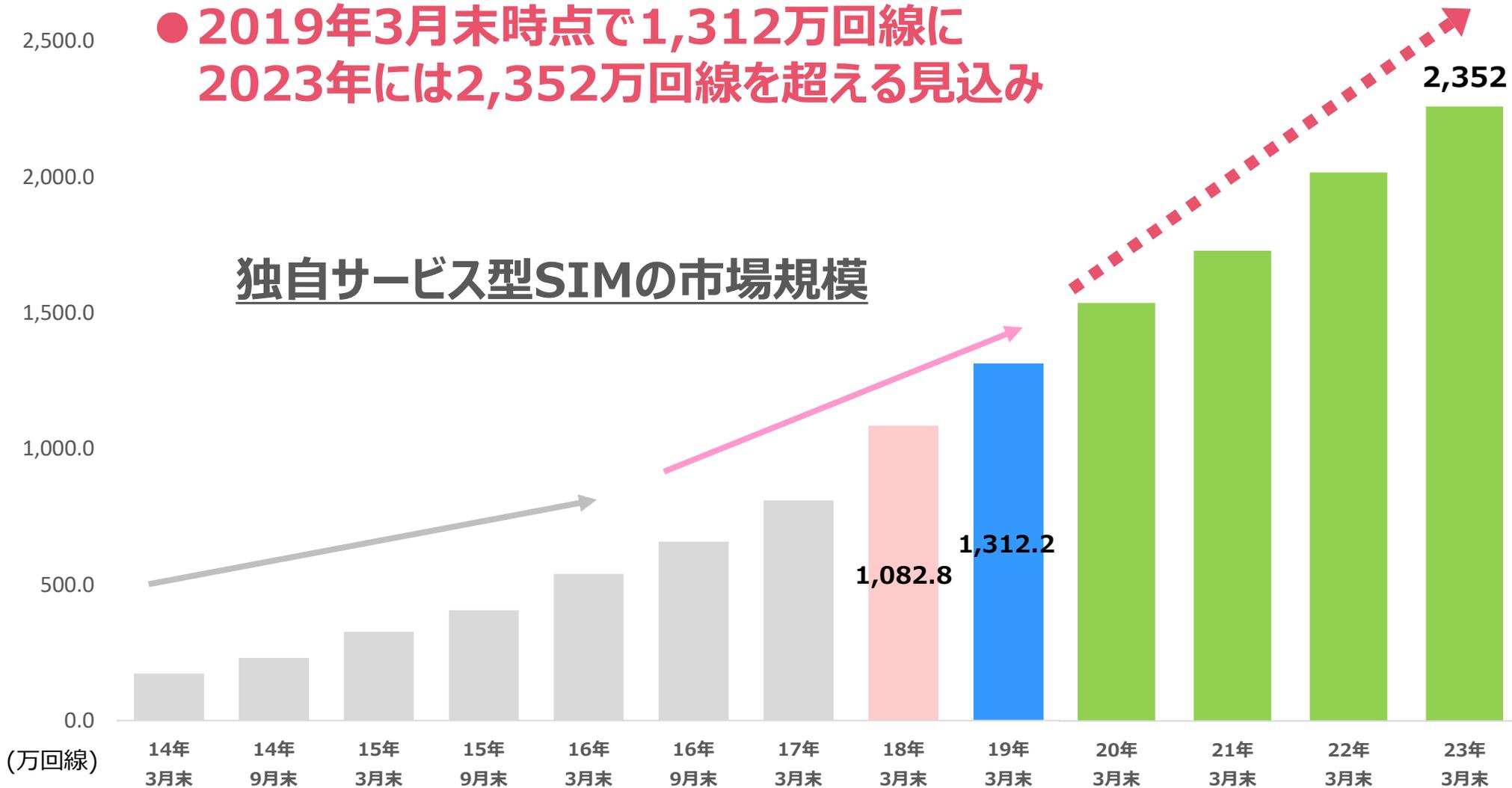
★多数端末との同時接続が飛躍的に拡大

現在の**100倍**

# 当社を取り巻く環境 MVNO市場

● 2019年3月末時点で1,312万回線に  
2023年には2,352万回線を超える見込み

## 独自サービス型SIMの市場規模

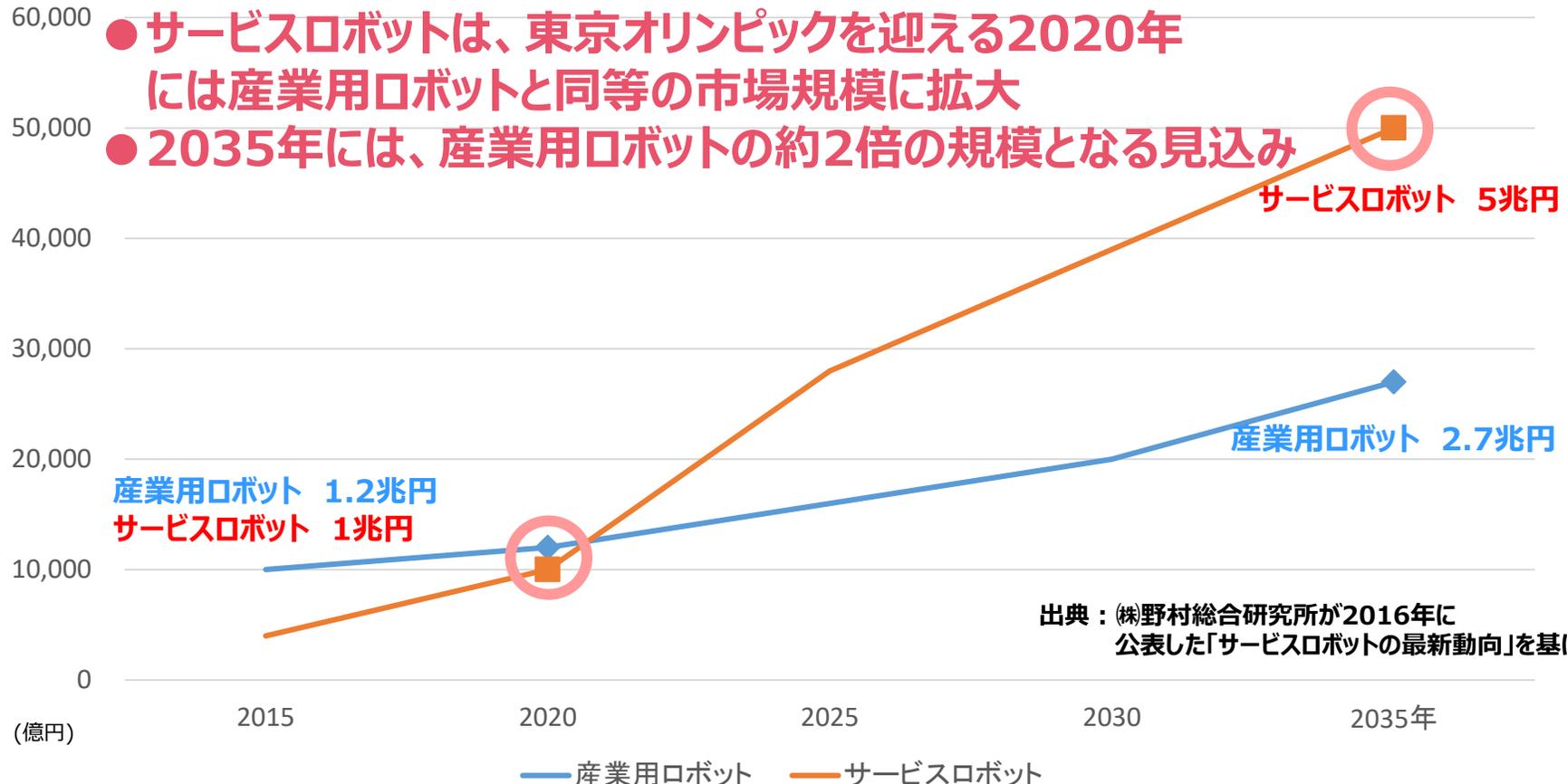


\*独自サービス型SIM  
出典：MM総研

予測

# 当社を取り巻く環境 ロボット市場

2035年に向けたロボット産業の将来市場予測



出典：(株)野村総合研究所が2016年に公表した「サービスロボットの最新動向」を基に作成

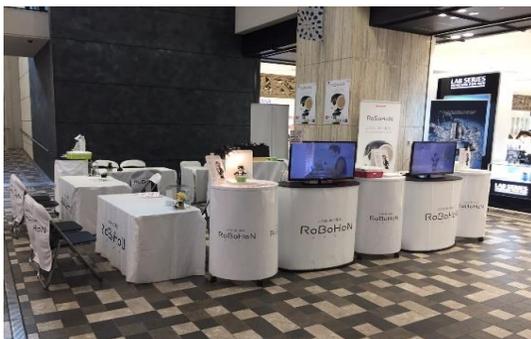
サービスロボットの中でも活用シーンが家庭・店舗・オフィス等多彩な  
**“コミュニケーションロボット”**が特に注目されている

# 当社の強み 販売チャネル①

## コミュニケーションセールス ≠ 一般の店頭販売

### 【攻めのアプローチ】

主な販売チャネルは集客力のある催事場所で、こちらから顧客にアプローチし、実際にタブレットやロボットに触れて体験していただくこと(=タッチアンドトライ)を基本に、**FaceToFace**のコミュニケーションを展開。



↓  
 ホスピタリティを持った接客と商品のデモンストレーション及び説明で顧客ごとに合った活用イメージを提供



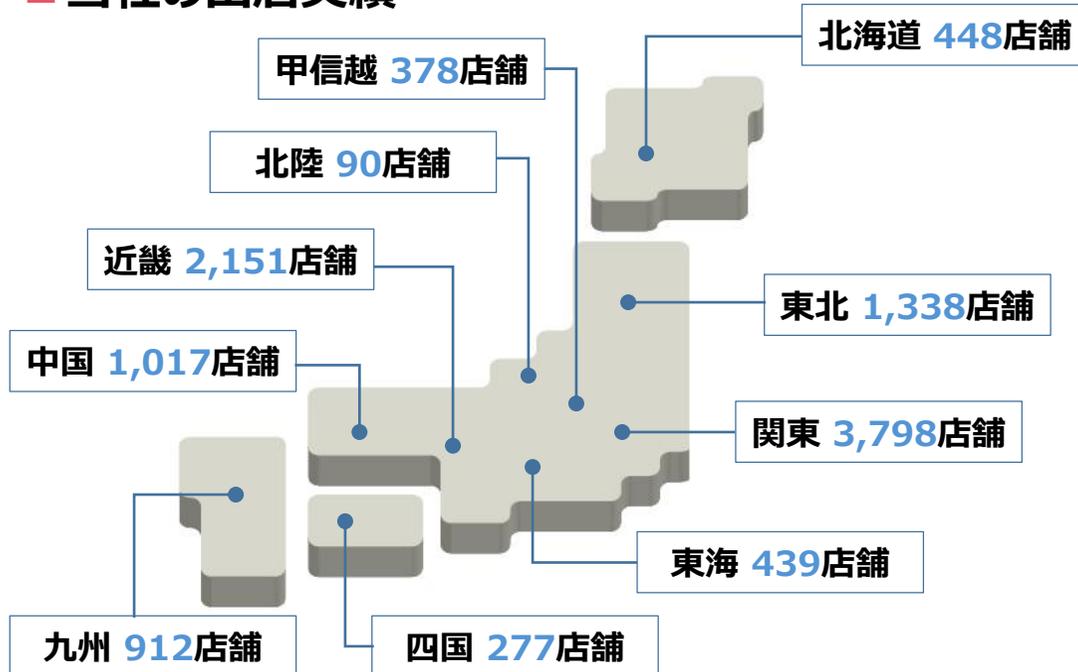
# 当社の強み 販売チャネル②

コミュニケーションセールス **≠** 一般の店頭販売

特定の店舗を持たない中で、20年以上のキャリアにおいて約10,000店舗の活動実績

120万人の新規の顧客を開拓

■ 当社の出店実績



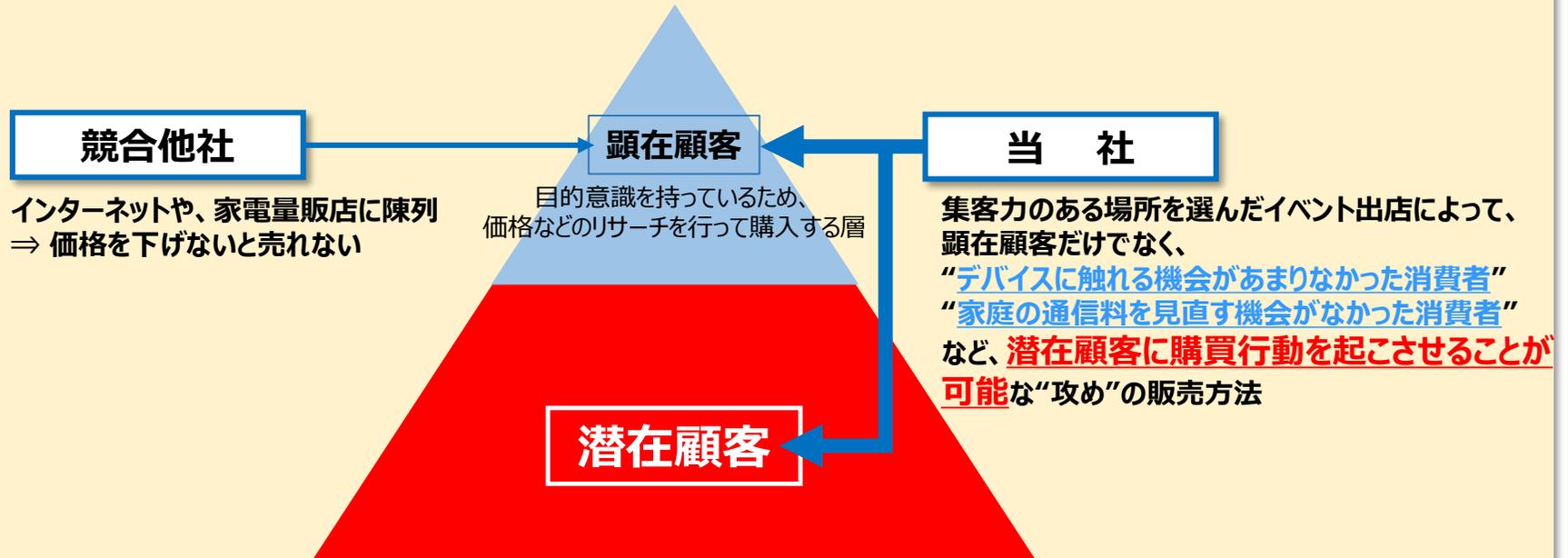
- ショッピングモール
  - 百貨店
  - スーパーマーケット
  - ディスカウントストア
  - アウトレットモール
- など

全国的な販売活動が可能なネットワークを実現

# 当社の強み 販売チャネル③

コミュニケーションセールス **≠** 一般の店頭販売

顕在顧客だけでなく、**潜在顧客の開拓が可能**なため、  
**価格競争に巻き込まれにくい**



## 当社のVISION “全ての人々にテクノロジーの恩恵を”

IOT、AI、ロボットなどテクノロジーは急速に進化する一方で  
その恩恵（テクノロジー）を体験する“きっかけ”がない

当社がテクノロジーを社会に広げる架け橋(チャンネル)となる

当社のVISION  
“全ての人々にテクノロジーの恩恵を”

## “コミュニケーションセールス”をコアとした 事業基盤の強化を推し進め、飛躍的な成長を目指す

戦略

1

商品の拡充・強化

戦略

2

人材の育成・増強

戦略

3

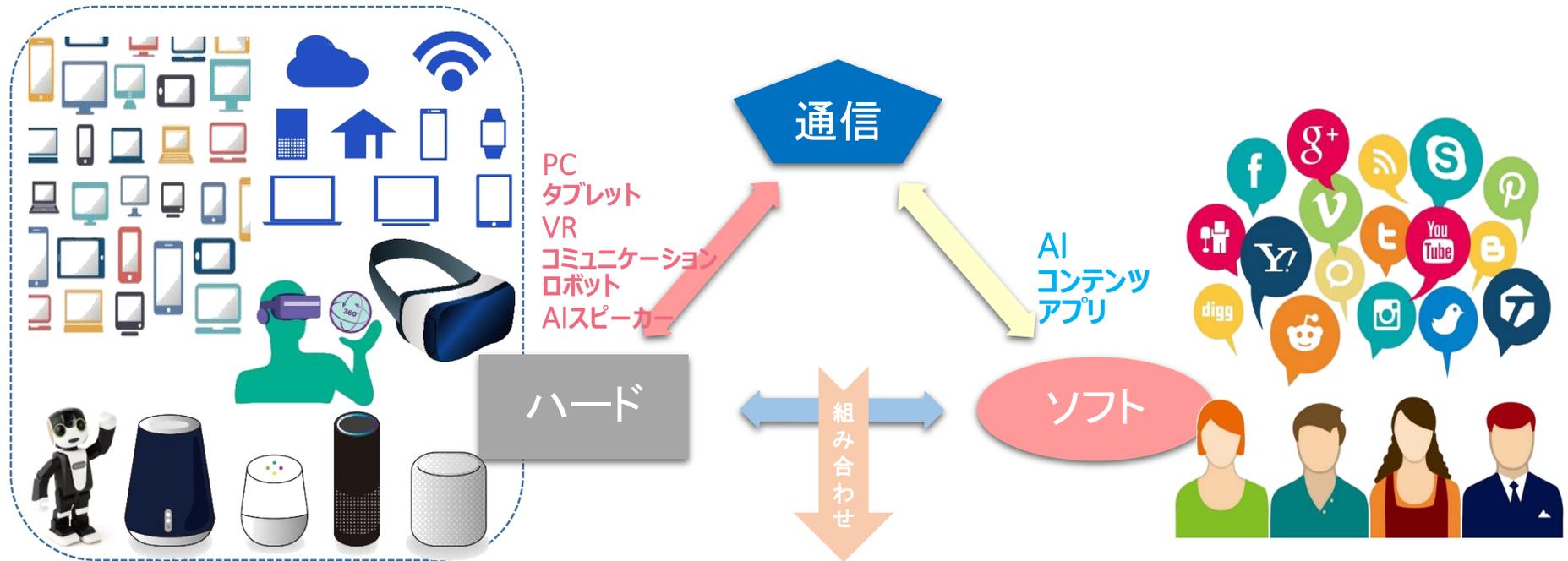
催事可能店舗の拡大

戦略

4

顧客のファン化

# 成長戦略① 商品の拡充・強化



**付加価値の高いオリジナル商品を開発**

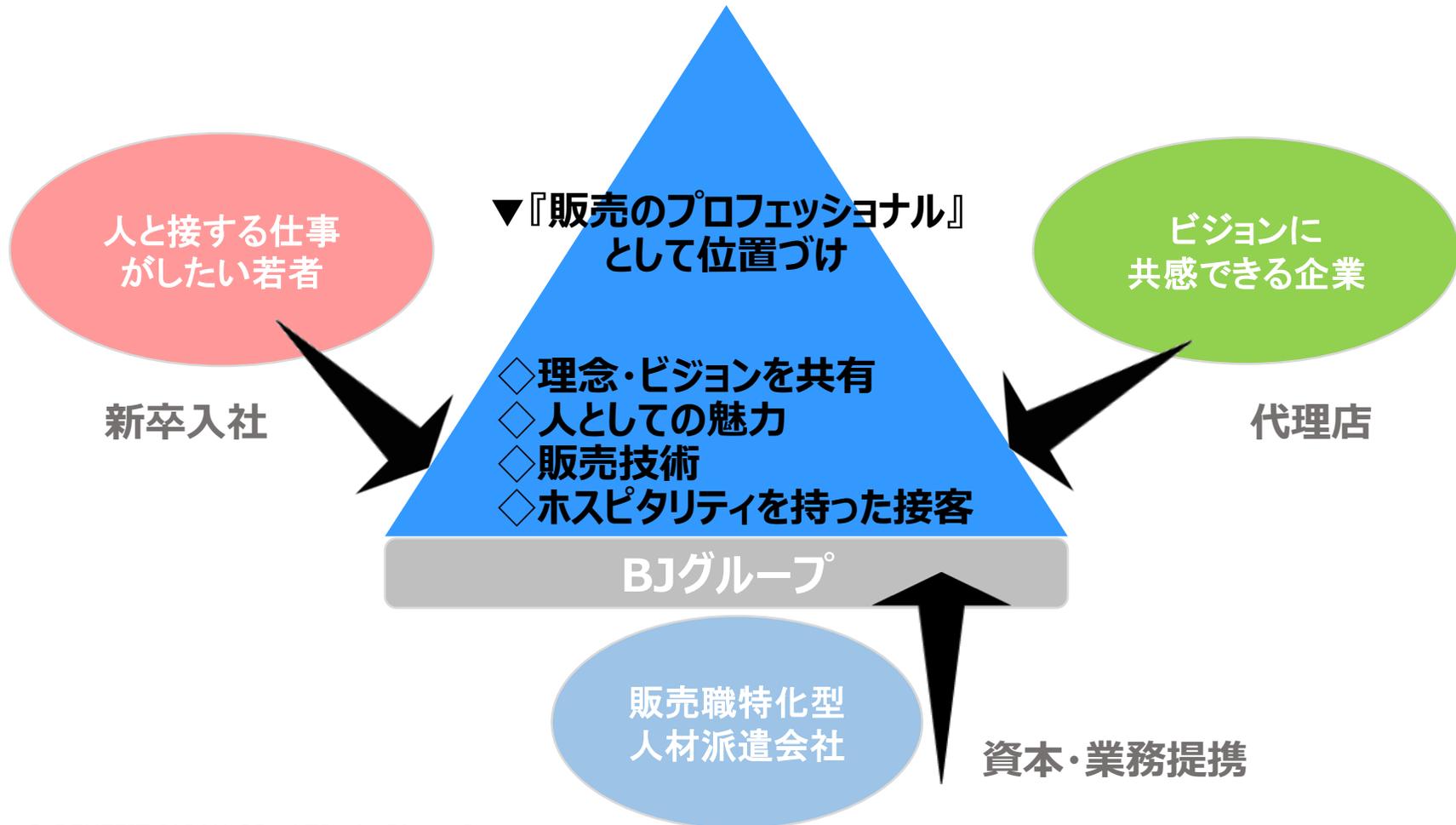
※ネット販売のような薄利多売は行わない⇒ホスピタリティを持った接客・サービス

**“イベント限定モデル”として位置づけ**

## 成長戦略② 人材・代理店の確保

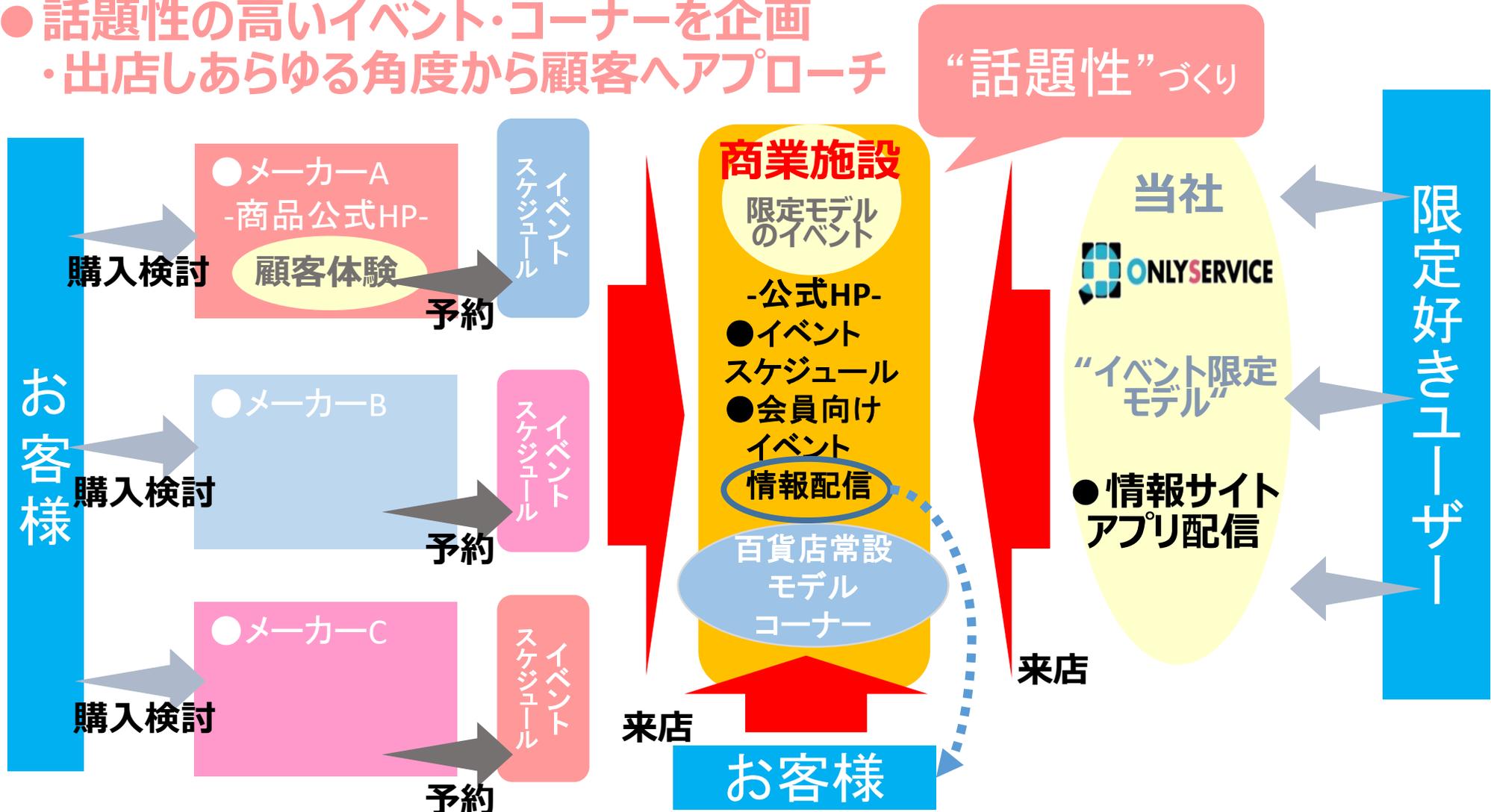
### ● 代理店を含めた理念共有が重要

▶ 「全ての人々にテクノロジーの恩恵を」



# 成長戦略③ 催事可能店舗の拡大

- 話題性の高いイベント・コーナーを企画
- 出店しあらゆる角度から顧客へアプローチ



# 催事可能店舗の拡大

## ●IoT・ロボットなど常設コーナーにて様々な取組みを実施予定

**ROBO Labo**  
(仮名)

ロボットと出会い、プログラムを学び、  
ロボットと暮らす、新しい生活の実験室 (laboratory)

考える	ROBOLabo COLLEGE [プログラミング教室]
動かす	ROBOLabo TOUCH [ロボット体験会]
楽しむ	ROBOLabo PLAZA [コミュニティ広場]

### ROBOLabo COLLEGE [プログラミング教室]

- ワークショップ形式
- ビジュアルプログラミングソフトを指導
- 「ロボホンをプログラミングで動かそう！」  
(タブレット等でロボット/ロボホンを動かす)



啓蒙

発信力

### ROBOLabo TOUCH [ロボット体験会]

- ロボホンを中心にデモンストレーション
- ロボホンの機能説明
- 利用イメージの展開
- 実際にロボホンに触れてもらう



ファン化

販売

### ROBOLabo PLAZA [コミュニティ広場]

- 新作発表会
- オーナーズイベントの開催
- マイロボホンコンテストや誕生パーティ  
など各種イベント
- イベントのリアルタイム配信
- 顧客サポート



アフター  
フォロー

コミュニティ

# 成長戦略④ 顧客のファン化

## ● 将来の構想としてAI・IoTを通じて総合的に提案・アフターフォローできる体制を構築



# 成長イメージ

- 会員数を着実に伸ばし安定的な収益構造を確保しつつ、IOT・AIといった説明型商品を導入し更なる成長を遂げ、  
**会員数 100万人 を目指す。**



# V. 株主還元

# 株主還元 株主優待導入・配当の実施

## ● 19年3月31日時点の株主の皆様に対し株主優待を開始



商品券 (QUOカード) 500円分



ONLYROBO ロボホン プレミアムの本体代金が36,000円割引 (226,800円→**190,800円**)で購入可能



モバイルWi-Fi通信サービスONLYMobile Speedyプラン (レンタル) 月額利用料1,300円割引(4,300円→**3,000円**)で利用可能



日本のおいしい天然水 24本まで 1本当たり400円割引 (1,900円→**1,500円**)で購入可能

※税抜表記

## ● 継続した配当の実施

今後の事業展開・経営基盤強化を踏まえた上で、

**1株あたり8円**の期末配当を実施予定

(2020年6月開催の第24回定時株主総会に付議予定)

**20年3月期予定**

1株あたり **8円**

今後も継続的な株主還元策の実施に取り組む方針

配当性向7.5%  
 ※20年3月期通期予想  
 配当利回り0.5%  
 ※11月8日終値を基に算出

# VI. 参考情報



## 当社の概要 株式会社ベネフィットジャパンとは

設立	1996（平成8）年6月6日
代表者	代表取締役社長 佐久間 寛
本社	大阪市
資本金	611,954千円（2019年9月末）
従業員数	157人（2019年9月30日現在）／ 平均年齢 29.3歳
事業内容	通信事業【MVNO】（仮想移動体通信事業者）

### <経営理念>

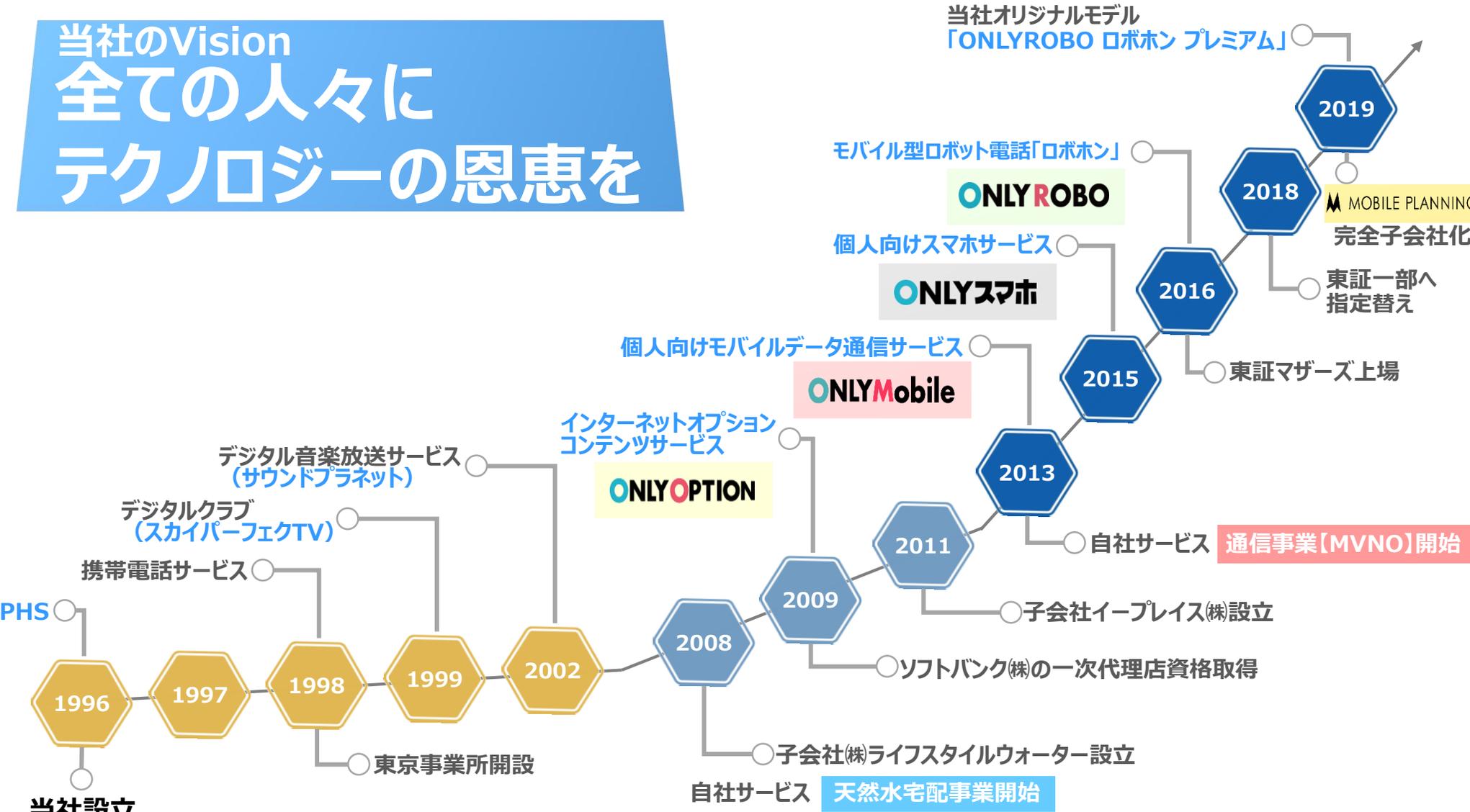
**“アイデア”と“情熱”で世界を変える**

### <経営方針>

**情報通信サービスを中心にお客様の  
ライフスタイルをもっと楽しく便利に！**

# 当社の概要 沿革

当社のVision  
**全ての人々に  
 テクノロジーの恩恵を**



当社設立

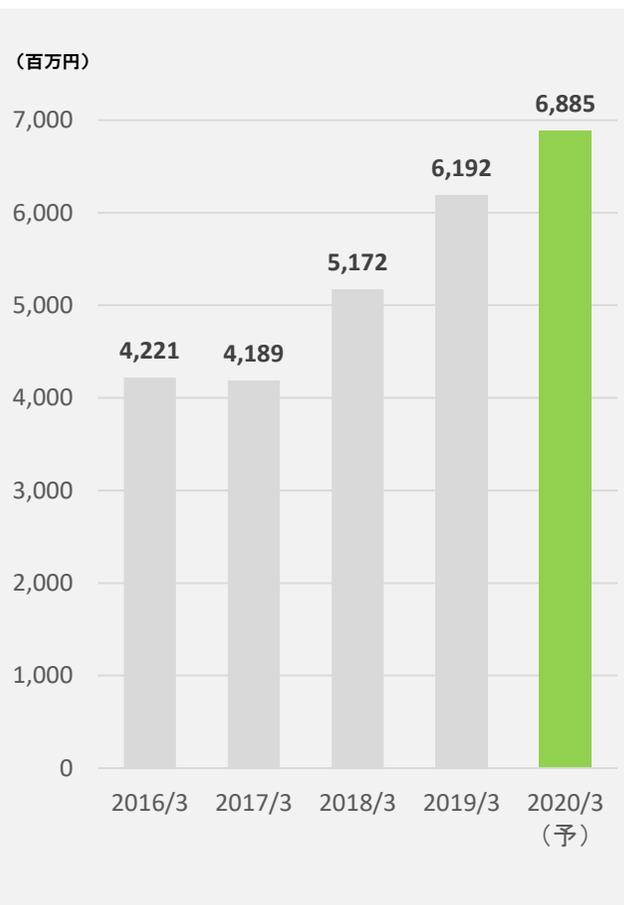
# 当社の主なラインナップ

● 一般顧客向け通信サービスを  
 自社サービス「ONLYSERVICE」  
 と総称して、SIMカード、通信機器・コミュニケーションロボット、  
 コンテンツの中から最適なプランを企画し  
総合的な通信サービスを提供

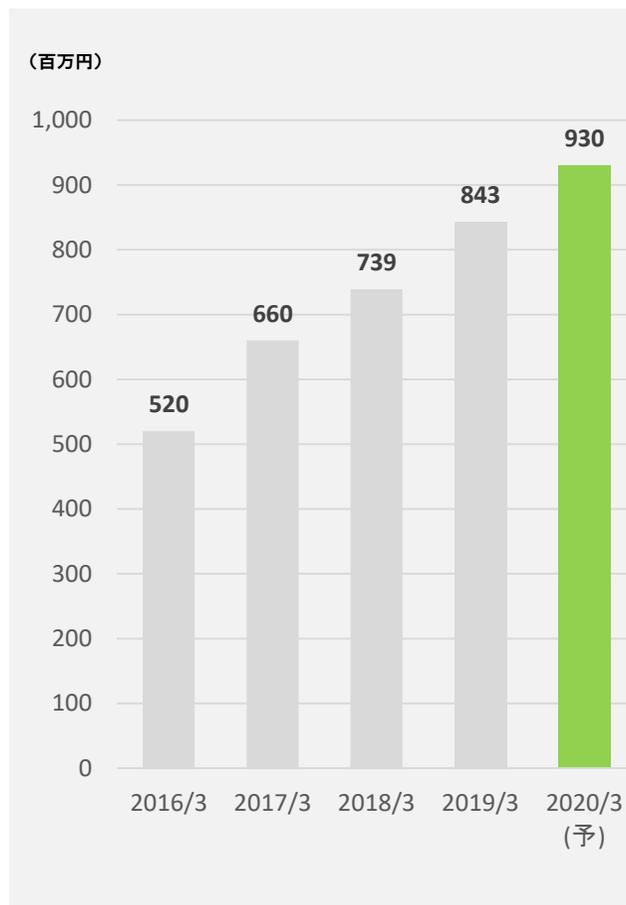


# P/L (連結)

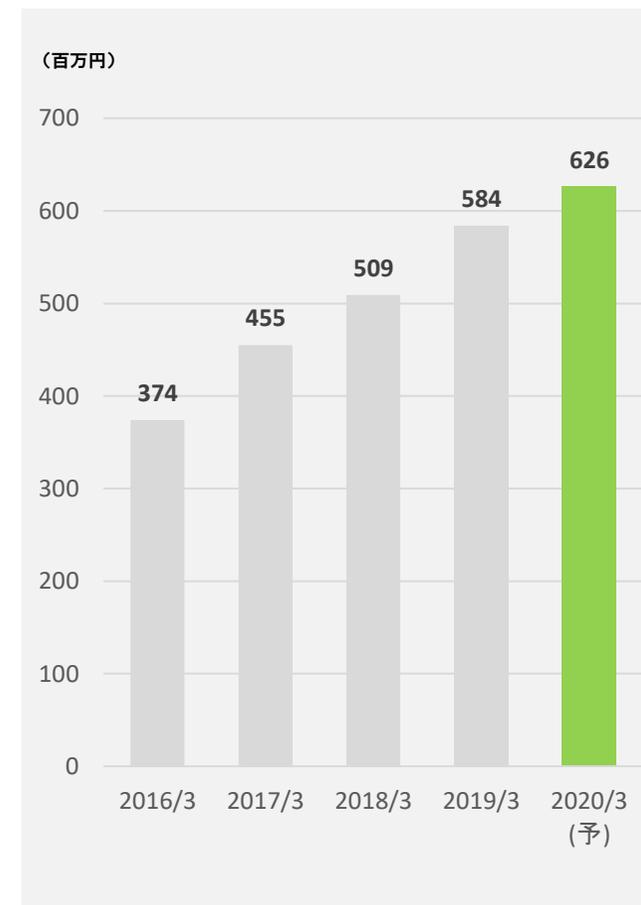
## 売上高



## 経常利益

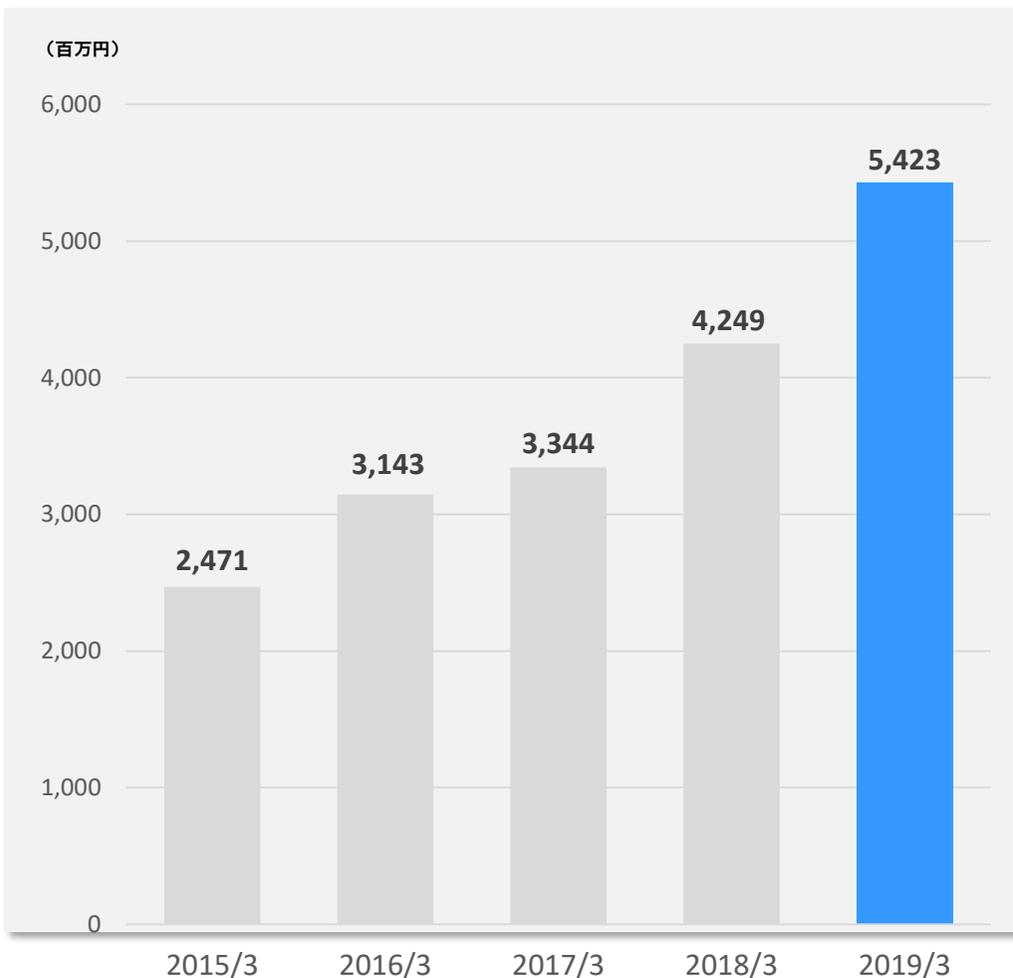


## 親会社株主に帰属する当期純利益

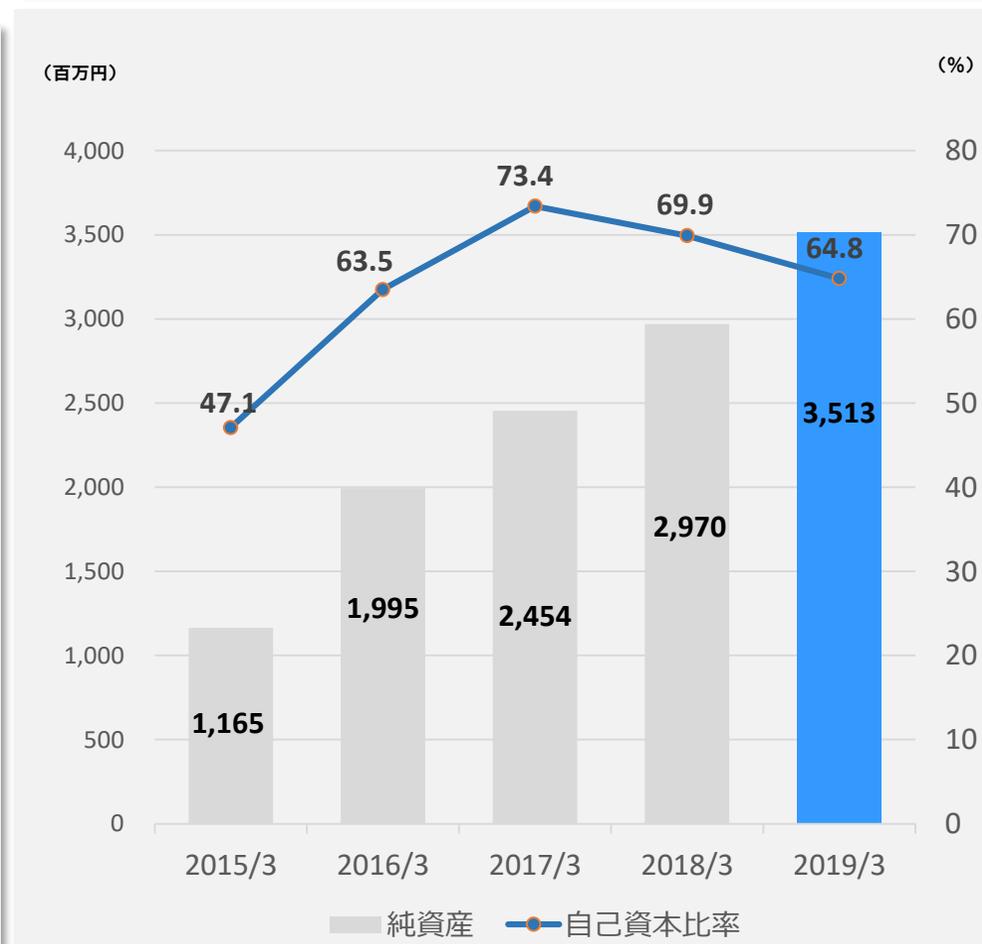


# B/S (連結)

## 総資産



## 純資産・自己資本比率



# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ベネフィットジャパン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
  - 当資料に記載された内容は、当資料作成時において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
  - 投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
  - それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
  - 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

# Benefit of Technology to All People!

笑顔でつなぐ、

みんなの未来

**BENEFIT JAPAN**